

第2回定例会

第2回定例会が6月16日と17日の2日間で開催され、一般会計と特別会計の補正予算のほか19件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

・審議した議案

一般会計 補正予算

審議した議案

予算

□平成22年度佐呂間町一般会計補正予算(第2号)
2742万8千円が追加され、予算の総額が44億4393万9千円になりました。

【主な歳入】

- ・前年度繰越金 2511万5千円
- ・地上デジタルテレビ放送中継施設整備民放負担金 251万7千円
- 【主な歳出】
- ・行政システム機器等購入費 143万7千円

- ・職員住宅給湯器設置工事 126万円
- ・減債基金積立金 251万7千円
- ・地区集会施設整備費補助金 508万9千円
- ・町営バス備品等購入費 116万6千円
- ・佐呂間保育所車両購入費 588万3千円
- ・有害鳥獣駆除報償費等 303万円
- ・町道富武士1号道路落石防止工事 253万2千円
- ・中学校電話機装置等取替工事 126万円

□平成22年度佐呂間町国民

健康保険特別会計補正予算(第1号)
145万円が追加され、予算の総額が9億1003万9千円になりました。

【主な歳入】

- ・医療給付費分現年度課税分 1020万9千円減
- ・後期高齢者支援金分現年度課税分 253万4千円減
- ・介護給付金分現年度課税分 122万6千円減
- ・医療給付費分現年度課税分(退職被保険者) 130万円
- ・保険基盤安定繰入金軽減分 114万円減
- ・国民健康保険事業基金繰入金 1000万円
- 【主な歳出】
- ・老人保健医療費拠出金 145万円

栄公民館の改修に508万円を補助!

保育所通所バスを購入し、10月から富武士、若里地区の児童を送迎!

条例

□職員の給与の一部控除に関する条例の制定について

職員住宅の使用料や組合費、各種保険料等を給料から直接天引きできるように条例が制定されました。

□佐呂間町ふれあいバスの運行に関する条例の制定について

10月から運行開始となるふれあいバスは、町内路線がスクールバスと一部混乗で6路線を無料運行し、町外路線は、遠軽と北見を中学生以上500円、小学生等は200円で、その他路線で常呂線を運行するなど、ふれあいバス

第2回定例会

・審議した議案

の運行に関する条例が制定されました。

□佐呂間町バスターミナルの設置及び管理に関する条例の制定について

9月末で民間バスの運行が終了となり、10月から町のふれあいバスのみがバスターミナルを使用することから、バスターミナルに関する条例を制定するものです。

□職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について

育児、介護休業法等の改正に伴い、時間外勤務を制限したり育児休業等を取りやすくしたことから、本町においても関連する2つの条例の一部を改正するものです。

□佐呂間町立特別養護老人ホーム設置条例の一部を改正する条例制定について

特別養護老人ホーム「愛の園」が10床増床となることから、条例の入所定員を50人から60人に変更するものです。

□佐呂間町国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について

国民健康保険法の改正に伴い、本町の国保条例も文言整理のため一部改正を行いました。

□佐呂間町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

国保税の賦課限度額を国の基準と同額の医療一般分50万円、後期高齢者支援分13万円、介護納付金分10万円とし、倒産・解雇等で職を失った失業者の国保税の軽減等のため条例の一部改正をします。

□佐呂間町総合介護条例の一部を改正する条例制定について

10月から運行するふれあいバスの町内料金無料化に伴い、従来の町内通院用のバス代助成から、新たに創設する介護輸送運賃助成事業により、介護サービス等のために利用するタクシー代の助成に変更する等の改正を行うものです。

議案・補正予算 質疑の中から



◎口蹄疫の対策について

【質問】宮崎県で発生した口蹄疫がなかなか終息を見ない状況だが、本町の口蹄疫への対策、農家個々への支援はどうなっているのか。

【答弁】4月の20日の宮崎県での発生により、4月23日に飼養管理と衛生管理の徹底についての周知を行っている。

5月に入ってから、町・農協・共済組合・普及センターからなる自衛防疫組合で酪農家、畜産農家、偶蹄類を飼っている農家150戸に石灰を5袋ずつ配布した。

追加で石灰を配布したいと考えているが、農協の方でも在庫が足りなく、全体に配る量がこちらに回ってこない状況にもある。

この自衛防疫組合はBSE

発生時にも対応しており、蓄積されたノウハウもあることから、今後どのような対策を講じるかも話し合っていくと考えている。

【質問】今後の様子を見ながら、農家個々の負担もできるだけ軽減していくような対策を町としても考えるということか。

【答弁】今のところは、口蹄疫の周知と石灰を撒いてもらっているが、配ったものだけでなく自分でも買って撒くという周知を今している最中で、半額の負担をしてもらっている。

ただ、今後これが進むような状況であれば、負担も少なくなるよう補正予算を組むということも対応していきたいと考えている。

第2回定例会

3件の意見書が可決され関係大臣等に提出しました。

認定1件、報告3件の審議を行い、すべて可決しました。

・審議した議案

ワクチン接種に関する意見書等を可決!

意見書

□ワクチン接種に関する意見書の提出について
本町において今年度よりヒブワクチンや子宮頸がん等の予防接種の一部助成を開始したが、国において細菌性髄膜炎及び子宮頸がんを定期接種対象とするまでの間、北海道で費用助成をし、更に定期接種対象の疾病と位置付けるよう国へ要望する意見書を北海道知事宛に提出しました。

□戸別所得補償制度の本格実施に向けた意見書の提出について
戸別所得補償制度の実施にあたっては、農業・農村の実情を踏まえ、農業者が希望を持って営農に取り組むことができ、経営の安定に資する制度となるよう関係機関に要望する意見書が可決され、衆参

両院議長ほか関係大臣宛に提出しました。

□義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、教職員定数改善、就学保障充実など2011年度予算編成に向けた教育予算確保・充実に求める意見書の提出について
義務教育に不可欠な義務教育費国庫負担制度の堅持と国の負担率を1/2に復元すること、30人学級と教職員定数の改善を図ること、給食費等の保護者負担の軽減等、国の責任で教育予算の十分な確保・拡充を行うよう要望する意見書が可決され、衆参両院議長ほか関係大臣宛に提出しました。



認定

平成21年度網走支庁管内交通災害共済組合一般会計歳入歳出決算

予算現額	47,553,000円
歳入総額	43,429,727円
歳出総額	43,421,075円
収支差引	8,652円

余剰金については、管内公平委員会へ繰越

□平成21年度網走支庁管内町村交通災害共済組合一般会計歳入歳出決算認定について
管内の町村交通災害共済組合が21年3月末で解散したことにより、21年度の決算認定は共済組合の構成町村で行うこととなったため、5月10日に佐呂間町監査委員による決算監査を実施し、監査委員の意見をもとに議会においても決算認定をしました。

その他

□北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について
北海道市町村総合事務組合規約の変更について

□北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約変更について
北海道市町村備荒資金組合規約の変更について
北海道総合振興局及び振興局の設置に関する条例が平成22年4月1日から施行されたことにより、関連する規約を一部改正するものです。

辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について
本町では、町内10地区が辺地としての要件に当てはまりませんが、実施事業の関係から若里、富武士が今回指定地域となります。

両地区の公共的施設の整備計画は22年度から26年度の5年間で、この整備計画によ

第2回定例会

・審議した案件

る事業は、有利な辺地対策事業債の借入ができることとなります。
公共的施設の整備計画は次のとおりです。

【若里地区】

- ・農林漁業経営近代化施設（養殖資材洗浄水処理施設整備）
- ・地場産業振興施設（水産物荷さばき施設整備）
- ・道路（若里基線道路整備）

【富武土地区】

- ・地場産業振興施設（水産物荷さばき施設整備）
- ・地場産業振興施設（水産物加工処理施設整備）
- ・地場産業振興施設（魚体選別機整備）
- ・地場産業振興施設（水産物販売店舗建設整備）

□工事請負契約の締結について

次の契約が締結され工事が行われることとなりました。
浜佐呂間簡易水道区域拡張事業浄水場・配水池計装設備工事

- ・契約の方法 指名競争入札
- ・契約金額 7350万円
- ・工期 平成23年2月28日

・契約の相手方 東京都中央区 東洋電機製造株式会社
代表取締役 土田 洋

□財産の取得について

取得する財産及び数量 スクールバス（大型）1台
取得価格 2399万2500円
納入期限 平成22年9月30日

取得の方法 指名競争入札
売上の相手方 帯広市西19条北1丁目 北海道日野自動車株式会社
代表取締役 武者啓一

□財産の取得について

取得する財産及び数量 スクールバス（中型）2台
取得価格 3147万9千円
納入期限 平成22年9月30日

取得の方法 指名競争入札
売上の相手方 帯広市西19条北1丁目 北海道日野自動車株式会社
代表取締役 武者啓一

10月から開始するふれあいバスの運行に向けてスクールバス3台の更新をすることになりました。

除雪作業用として次のとおり建設機械を購入することになりました。

□財産の取得について

取得する財産及び数量 除雪機械（除雪ロータリ13t級）1台
取得価格 2331万円
納入期限 平成22年12月6日

取得の方法 指名競争入札
売上の相手方 北広島市大曲中央1丁目 北海道川重建機株式会社
代表取締役 大滝 幹夫

報告

□平成22年度第1回定期監査報告書の提出について

平成21年度会計の定期監査が5月10日から20日の間実施され、その結果について代表監査委員より適正に処理、運営されていたとの報告がなされました。

□繰越明許費繰越計算書について

平成21年度の一般会計からは29件、1億2212万3千円の事業が、簡易水道特別会計では2件、668万1千円の事業が、公共下水道特別会計では2件、580万7千円の事業がそれぞれ22年度に繰越となりました。

事業名	翌年度繰越額
知来給水区施設設備改修工事	3,660,000
大共給水区浄水施設改修工事	3,021,000
下水道管理センター設備改修工事	1,701,000
浜佐呂間下水道設備改修工事	4,106,000

第2回定例会

- ・ 審議した議案
- ・ 町長行政報告

平成21年度佐呂間町繰越明許費繰越計算書（一般会計）

（単位：円）

事業名	翌年度繰越額	事業名	翌年度繰越額
【総務費】		パンケ川改修工事	3,985,000
北海道自治体情報システム協議会負担金	3,391,000	西富公営住宅物置設置工事	7,224,000
職員住宅屋根塗装工事	4,186,000	寡婦住宅屋根塗装工事	609,000
【民生費】		【消防費】	
老人福祉センター駐車場舗装工事	3,486,000	全国瞬時警報システム設置工事	2,333,000
老人福祉センター浴場脱衣室改修工事	1,754,000	全国瞬時警報システムLGWAN回線接続工事	429,000
屋内ゲートポール場暖房施設改修工事	1,376,000	【教育費】	
児童館改修工事	3,728,000	若佐小学校児童玄関改修工事	1,155,000
【衛生費】		浜佐呂間小学校電気暖房設備改修工事	4,410,000
一般廃棄物処理場浸出液処理施設改修工事	1,946,000	佐呂間小学校駐車場舗装工事	17,252,000
サロマ斎場火葬炉耐火物改修工事	2,594,000	佐呂間中学校フェンス設置工事	4,500,000
【商工費】		町体育館駐車場舗装補修工事	893,000
サロマ湖展望台改修工事	3,854,000	町営スキー場リフトワイヤーロープ交換工事	2,216,000
キムアネップ休憩所改修工事	2,919,000	温水プール改修工事	2,930,000
物産館みのり屋上防水・外壁塗装工事	3,222,000	武道館・温水プール屋上防水工事	17,000,000
悠林館外壁等塗装工事	5,030,000	【諸支出金】	
【土木費】		佐呂間町簡易水道特別会計繰出金	6,681,000
除雪センターシャッター改修工事	1,813,000	佐呂間町公共下水道特別会計繰出金	5,807,000
町道武士39号道路舗装改修工事	5,400,000	合 計	122,123,000

□ 牧野の入牧状況について
 牧草育成の遅れから昨年より一週間遅れの5月28日に入

り取りによる2番草の確保が期待されず。
 牧草も低温により草丈が伸びず心配されましたが、近頃の天候回復と同時に急速に生育を盛り返しており、今週からコントラクターの作業が開始と聞いております。適期刈り取りによる2番草の確保が期待されず。

□ 農作物の生育状況について
 今年の春は、雪解けの遅れや天候不順の影響で作付けが遅れ、加えて地温の上昇が見られないことから全体に生育の悪さが見られるも、ビートの植え付け作業は短い晴れ間に急ピッチで作業を終了し、6月の好天、高温に期待するものです。

町長行政報告

（要旨）

第2回定例会

町長より行政報告がなされました。
(内容は要約して掲載しています。)

・町長行政報告

**佐呂間高校の平成23年度入試は
2間口(80名)が確保される!!**

牧終了となりましたが、今年の入牧頭数は増加し、6ヶ所の牧野で730頭が預託されておりです。
今後とも健康で丈夫な牛の育成のためにも町牧野を大いに利用していただきたい。

□漁業について

外海ホタテ稚貝放流は5月15日から一週間で順調に終了し予定の8622万粒に対し9305万粒をA海区に放流しました。また、ホタテ稚貝の採苗見込みは平年より10日遅れでサロマ湖では今月半ば頃から付着期に入り、連日、ラーバ(浮遊幼生)調査を実施中です。
さけます稚魚の中間育成は、6月1日に1グラムまで成長した稚魚を放流でき、4年後の回遊に期待しています。
外海ホタテ漁業は、5月28日より本格操業に入りまし

た。今後の貝の状況を見ながら一隻当りの日産量を23トンまで増産する予定であり、本年は9050トンの計画であります。
漁港整備事業については、富士土漁港は新港北防波堤消波ブロック設置工事が11月10日を工期に工事が始まっており、若里分港においても新港用地舗装工事、旧港物揚場かさ上げ工事等を9月下旬の発注予定とし、両港の老朽施設機能保全を図る上で、水産物供給基盤機能保全事業の基本計画策定に向け、関連する施設の調査や構造を検討する予定であります。

□公共事業の執行状況について

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業では、事業件数30件で事業総額1億1800万円を予定し、5月末発注状況は13件、発注率48%であ

ります。
22年度計画の主な工事は、36件、総額5億4900万円です。早期発注に努めます。

□佐呂間高校2間口確保対策について

本年度佐呂間中学校卒業生は59名であり、1間口のままで他校への進学を余儀なくされることから、先般、北海道教育委員会等関係機関に本町の実情を訴え、23年度入試の2間口確保の要請を行った他、オホーツク中学区の地区別検討協議会でPTA会長から要望もしております。
その後進路希望調査で48名が佐呂間高校へ進学希望の結果を受け、再度要望書の提出を行った結果、6月1日付けで2間口の確保が公表されました。
しかし、今後の中学校卒業生は減少傾向にあり、24年度以降は厳しい状況が予想されます。

姉妹都市提携30周年記念式典の開催について

本町とパーム市の姉妹都市提携から30周年の節目を迎え、記念式典の開催に向け、佐呂間町・パーム市姉妹都市交流会の協力を得て準備を進めております。

訪問団は、パーム市長をはじめ一行24名を迎えて7月15日に記念式典を実施する予定であり、今後も更なる交流に努めて参ります。

□サロマ湖100kmウルトラマラソンにおける口蹄疫対策について

近隣町村の農業団体等から大会延期や、実施の際のコース変更の再検討、加えて予防体制の徹底を求める要請書の提出を受けており、実行委員会としての防疫対策内容を説明し理解を求めた結果、予定通りの実施の見込みとなりました。

今年25回を記念する大会であり、国内外から100kmの部3617名、50kmの部502名が参加しますが、選手達が存分に楽しめる大会であるように防疫対策の強化を図って参ります。